

2022年度以前入学生対象 カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

1. 編成の方針

建学の精神「報恩感謝」ならびに教育理念「自立・創造・共生」に基づき、人間社会学科では、人および社会の課題に適切に対応するために、「人と社会」の関係について科学的視点をもって探究することを目的としてカリキュラムを編成している。具体的には、「心理コース」「現代社会コース」「経営情報コース」「社会福祉コース」の4コースを設置し、それぞれの学問領域を深く探究できるような学習活動を行わせるとともに、教養と人間性を重視しつつ、基礎的な学習技術、社会人として必要となる実践力、多角的に考える力の形成にも重点を置いたカリキュラム編成としている。

2. カリキュラムの構成

1)豊かな人間性と幅広い教養を備えることをめざし、共通教育科目として、建学の精神と教育理念に則った人格形成を行う「必修科目」、外国語コミュニケーション能力を育成する「外国語科目」、多様な教養を身につけさせる「選択科目」を配置している。また社会人に必要な知識やスキルを身につけて、自身にあった職業選択につなげていく「キャリア教育科目」も配置している。

2)専門教育科目として、「必修科目」と「選択必修科目」、および「選択科目」を配置している。「必修科目」は、「人と社会」に関する基盤的な学びを形成する講義形式の授業と4年間を通して少人数制で行う演習形式の授業（ゼミナール）から構成される。「選択必修科目」は、各コースの入門的な科目群と社会人基礎力を形成する科目群から構成される。「選択科目」は、専攻するコースの専門知識を深め、関連する資格や免許の取得をめざす「コース選択科目」とコースを越えて多角的な知識の獲得をめざす「その他の選択科目」から構成される。

3. 教育内容・方法

1)報恩感謝の心と幅広い教養

I. 互いの「いのち」を尊び、その恩をたずね、すべてのものに感謝する心を持てる学生を育てるために、「宗教学」を開講し、「建学の精神」の意識化を促す。ひいては、社会の発展と知見の創造、そして文化の向上に資する学生の人格形成を支援する。

II. 幅広い学びを保障し、多角的な視点を身につけられる教養教育を実践するため、「外国語科目」を必修として設定するとともに、人文・社会・自然科学などを含む多様な学問領域を学べるように科目を設置する。

2) 専門的な知識・技能

I. 4コースそれぞれの基盤となっている学問領域の基本的知識・技能を獲得し、卒業研究につなげるために、学科共通科目のほか、学問領域ごとに専門性を高める科目を体系的に配置する。

II. 現代社会とそこに生きる人間がかかえる課題の複雑さに対応するために、4コースの基盤となっている学問領域の連携を進め、学際的な学びを実現できるようにする。

3) 問題解決能力

「人と社会」に関する情報を的確に収集・分析することで問題を発見し、その解決をめざす力を獲得するための科目を配置する。

4) 自律的・主体的・共感的態度

I. 大学の主体的な学習に必要なスキルと自律的な態度を育成するために、学部共通の初年次教育プログラムを設ける。

II. ゼミナールを中心として、少人数編成の科目を初年次から最終学年まで縦断的に設置することにより、教員や学生同士が互いに理解しあい、ともに学びあうことを重視した教育を実施する。

5) 実践力

I. 学生が自己の特性を知り、自身にあった職業選択を可能とするとともに、社会人に必要な知識やスキルを身につけるためにキャリア教育を実施する。

II. 実社会の現状への理解を促し、社会参加に必要なスキルと態度を育成するために、学外での体験学習を実施する。

4. 評価の方法

受講態度や発表、課題など各回の授業で設定された学習の到達度とともに、定期試験・レポート等によって総合的な学習の到達度を教員が評価し、それを学生が確認する。最終的に、卒業研究において、知識や技能を活用する能力を総合的に評価する。